

1989年(平成元年)

・小柳 望氏(エーザイ)と染谷(旧カワシマ商事:現サンプラネット、エーザイグループ企業)の二人で立ち上げる。

小柳氏:東大サッカー部出身で在籍当時の監督は現在日本サッカー協会理事で規律委員長・浅見俊雄氏。小柳氏本人も代表(?)候補の合宿に参加したことがある…と言う事を同僚の方から聞いた事がある。

当時、東光台に住んでいた小柳氏の小学3年生になる長男と、周辺の友だちが「サッカーをしたいが近くにチームが無い」と言うことから、エーザイのグラウンドを利用して一緒に始めたのがチーム創設の第一歩!今思うと、子どものやりたい気持ちよりも、お父さんである小柳氏本人の方が「息子と一緒にサッカーしたい」という気持ちが強かったのかもしれない。

小柳氏と一緒にエーザイ筑波研究所チームでプレーしていた自分(染谷)も、将来的には少年サッカーの指導をしてみたいという“夢”を持っていたため、本格的に小柳氏とこの計画を進めるとにした。

小柳氏が会社はこの計画を持ち掛け、会社側も「地域への社会活動貢献」の観点から、筑波研内の野球グラウンドを無償解放してくれた。外野の芝部分ではあったが、芝生のグラウンドで練習出来たのは幸運だった。とはいえ、最初に集まった人数は小柳氏の息子さんとその友だちの7、8人だった(全員小3)。約1年間は試合が出来るだけの人数が集まることもなく練習を続けていた。

この頃小柳氏の発案で、活動をアピールするためにも「小学校のグラウンドでも練習しよう」ということになった。まだ、学校週休2日制以前だったため「土曜日の14時から」の練習になった。

現在の土曜14時はこの時からである。小学校もみんなが通っていた“沼崎小学校”なら相談しやすいことから決まった。下期からは正式な手続き(つくば市学校施設開放申請)を経て、エーザイグラウンドと隔週で利用するようにした。

チーム名の「東光台サッカークラブ」も、部員のほぼ全員が東光台に住んでいる子たちだったので必然的にそう決まった!

・年度報告より

1) 1989年度活動状況報告

2) 会計報告 (延べ人数)

収入	会費	¥ 500 / 月 / 人 × 86	=	¥ 43000
支出	ゼッケン	¥ 1500 × 10	=	- ¥ 15000
	医療品			- ¥ 4001
	体育館使用料(3回分)			- ¥ 3000
				残高 ¥ 20999

3) 1990年度活動計画

- * NTT杯つくば少年サッカー大会
- * 練習試合の検討

4) その他

- * ユニフォーム作製について
- * 会費について 案 ¥ 500 / 月 ¥ 3000 / 半年
- * 練習日について 案 日曜15時 ~ 土曜午後にしてはどうか?
- * チーム名について
- * 参加者募集について 東光台地区で案内の回覧を回す
役場にポスターを掲示する
- * 雨天の場合、体育館が空いていれば体育館を利用する